



監査報告書

令和2年5月21日

社会福祉法人 大慈厚生事業会
理事長 松井 尚子 様

監事 新村 和美 
監事 安原 武志 

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

3 追記情報

《会計》

複雑な会計システムを正確かつ適切に処理されていて、高度な計算能力、書類作成能力があると認められます。この能力が維持できるよう今後も一層の努力をお願いします。

大慈さくらショートステイと大慈さくら保育園は独自の普通預金口座を持たず、ケアハウス大慈、大慈智音園の口座を利用しながら経理処理を行っていますが、経理処理の単純化の観点から独自の普通預金口座を開設して経理処理を行ったほうが、事務の合理化を図ることができると思います。

《処遇》

高齢者部門、児童部門共に慢性的な人材不足の中、夫々の施設の課題はあるものの職員間のチームワークを強化することで仕事力を高め、目標を達成しようとする努力が認められます。組織にとって職員間の人間関係はお互いの信頼感を持って連携を深めることが重要であり組織力を高めます。このチームワークをベースにした関わりが児童部門では保護者との信頼関係、高齢者部門では家族との信頼関係につながっています。

又、各施設において苦情の件数は少なく、また内容も重大な案件はなく、日々の職員の細やかな努力を感じることができました。

今年度は後半にコロナウイルス問題が発生して、施設外との連携は困難な現状ではあるが、今後は組織の力を地域に向けて発信し、地域力を高める存在となることを期待します。

以上